

日時：平成25年6月26日（水）11：00～11：35

場所：市役所4号棟第6号会議室

出席者：市長、副市長、企画部長、建設部長、都市計画課長

取材者：岩手朝日テレビ、岩手放送、テレビ岩手、NHK、岩手めんこいテレビ、共同通信社、毎日新聞、東海新報、朝日新聞、河北新報、岩手日報、三陸経済新聞、読売新聞

## 市長挨拶

メディアの皆様方におかれましては、大変お忙しい中お集まりいただき、心から感謝申し上げます。新しい市役所の位置について市民アンケート、職員アンケート、議会の皆様方からのご意見及び、先日行われました復興計画の推進委員会におけるご議論などを勘案しながら、本日の9時から庁議を開かせていただきまして、一定の方向性を出させていただくことになりましたので、その結果等について皆様方にお話をさせていただきたいと思っております。

## ●新しい市役所の位置の検討結果について

市長) 被災市街地復興土地区画整理事業の事業計画作成に伴う新しい市役所の位置については、市民アンケートや市議会での議論等を踏まえて検討した結果、次のとおりとさせていただきます。

検討結果につきましては、新しい市役所の位置は、東日本大震災の浸水区域外で、高台を基本とすることでございます。

議会からの申し入れは土地区画整理地以外のところと申し入れをいただいたが、今後検討する中で高台にも区画整理地があるので、そこを排除するというのではなく、そこも含めた形での検討もあるので、東日本大震災で浸水をしていない所というふうにさせていただきます。

2点目の新しい市役所の具体的な位置については、現市役所庁舎の位置を含めて引き続き検討し、適切な位置を選定するとしています。これも議会からの申し入れがありましたけども、現在の市役所の位置がベストかと言えば、そうではないとのご指摘もいただいている。面積も小さく、非常に不整形の土地であるとの指摘もいただいているので、ここも含めて震災で浸水していない所、そして高台を基本としながら、他の場所がないのか検討していきたい。

3点目は新しい市役所を設置するに当たっては、まちづくりの観点や利用者の利便性の確保については、十分留意して対応していくこととするとしております。これも今回の議論の中で、利便を取るのか安全を取るのかという議論になったわけですが、出来れば両方とりたいわけでありまして、そういう意味でどの場所が安全で利便が高まるのかを含めて検討していきたい。

なお、その理由につきましては市民アンケートにおいては、高台に位置する3案の高田町鳴石地区（現市役所庁舎）が約41%と最も多かったこと。それから職員アンケートにおいては、高台が望ましいとするものが約75%を占めたこと。市議会から、「住民アンケートは重くとらえるべきだが、現在の市役所は十分な立地場所とは言い切れないものがある。住民の求める意思を汲み取り、土地区画整理事業区域外において適切な位置を決定されたい」旨の申し入れがあったこと。復興計画推進委員アンケートでは、1案（荒町）と3案はほぼ同数であり、復興計画推進委員会でも、「より安全な場所に設置すべき」との意見とともに、「安全面の確保、行政機能の保全、避難施設としての活用等を考慮のうえ、中心市街地にあるべき」と、双方の意見が出されましたので、両方をくみ取りながら検討していきたい。検討の経過については省略します。

市民への公表については、今回の記者発表のほかに7月3日発行の復興ニュースで発表したいと思っています。また、ホームページ、フェイスブック等でも早急に公表を行ないます。以上です。

#### 【質疑】

問) 市民アンケートで4つ示している、今回はその中から選ばれなかった。そのことについて市民に理解が得られるのか。

市長) 高台か中心市街地かということが一番の論点だったと思うが、その中でこの場所を示したということは、市として確実に土地が確保できる中で選択肢を示させていただいた。ところが、4つを示した中においても、意見欄においてはそれ以外の場所を示された意見が多くあった。そこで我々としては市民の意向をくむという意味で、安心して生活できる高台、浸水区域以外ということは共通の認識と考える。じゃ、示した場所にすぐに決める必要があるのかというと、市街地以外の場所であればもう少し考慮する必要があるのではないかと思い、庁議の中では今回の結論に至った。

問) 今後また市役所の位置について検討されると思いますが、建設の用途は当初は平成30年となっていたが、さらに位置を決定するにはいつ頃までと考えているか。

市長) 非常に難しい問題だが、一つはやはり財源の問題。現状であれば国の交付金で建てられるが、我々が建てようとするときにあるのかわからない。ただ、私どもは市役所の建設は復興の一番最後だと思っている。まずは住民の皆様の高台移転を優先すべきと思っている。時期は明言できないが、住民の皆さんの高台移転の経過などを見ながら考えていかなければならない。ただ、いつまでもとは思っていない。

問) 今後かさ上げ地として整備される荒町地区や高田小学校付近などどのように活用されるのか。

市長) 市役所の位置をどうするか考えてきた中で、高田小学校に市役所を建設するか、荒町地区に建設するかなどの案を示してきた。今回、方向性としてはそれらの地区には市役所は建てないという方向になってきているので、その後については、今後議論していかなければならないと考えている。公共施設等の配置についてもこれから議論していく。

問) 土地区画整理事業の範囲内も含めて検討とあるが、今回この6月までにある程度の方向性を示すとありますが、土地区画整理事業の範囲内か否かというのが大きくそこだったと思うわけですが、それが9月に県に申請をするということで、土地区画整理事業の範囲内を含めるんであると間に合わないのではないかとの懸念があるが。

市長) 基本的には区画整理地内という表現は、我々が示すところでは中心市街地のほうである。たとえば市役所を建てるとなれば、その土地は宅地ですから、もしかすると高台の宅地にも可能性はあるという意味で、それを表現するためには浸水区域外という表現のほうが市民の皆様にはわかりやすいだろうと思っていた。基本的には中心市街地に置くか置かないかという意味で区画整理地内か外かの使い分けをしてきた。そこはご理解いただきたい。

問) 今日の庁議の件ですが、どのような構成なのかと、その中でどのような意見が出たのか教えていただきたい。

市長) 構成は部長級の職員で構成されている。これまでのアンケート結果などを示しながら会議を進めたが、方向性となれば議会でも答弁をしたように、アンケートの結果は重視していこうというところは全員一致の考えであるが、今後いつまでに結論を出すのか、候補地の活用方法についての意見なども出た。

問) 昨年秋ごろの住民説明会で市役所の位置を巡って、市役所対住民みないな対立関係になるのはナンセンスだとお話があったが、今回のアンケートなどの手続きについても、このような考えの中で行われたものと考えてよいのか。

市長) この間、荒町地区などに市役所の位置などを示したこともあったが、これに対して一部の住民の方から強い反対意見をいただいたこともある。私は復興というのは、確かに市役所の位置も大切だが、市役所の位置で全てが決まるわけではない。やっぱりベクトルはみんな同じなので、協力していかなければならない。このことだけで住民同士が対立したり、市役所と市民が対立することは好ましくない。住民の皆さんの意見も個人で全然違うものがあるのでアンケートを実施するのが良いと考えた。やるのであれば全世帯に実施することが良いと考えた。

問) 今回の決定にあたって、市民の意見を尊重したというふうに考えてよいのか。

市長) とらえ方はいろいろあると思う。たとえば高田小学校の位置は人によっては高台という考えもある。人によっては市街地と考える人もある。従ってその人の感覚によって思うことが違ってくる。あるいは、今回のアンケート結果で、荒町と高田小学校をたせば今の市役所の位置よりも市民の意向は市街地という意向が強いのではないかと考える方もいらっしゃる。これまでいろんな方のご意見を伺ってきた。それをふまえた上でこのアンケートが示しているように、これに準じて考えるということが基本になると思う。

問) 改めて、数百億円をかけてかさ上げや区画整理を行い、安全と思われる場所を造るわけですが、それでもそこは市民の方々は嫌だということなのだろうが、これについての市長のお気持ちは。

市長) 私どもはこれまでまちづくりを計画していく中で、今度かさ上げをする場所については当然安全だという確信の中でまちづくりをやっていこうと考えている。ただ、人の気持ちですから、一概にこれが絶対とは言えない。ただ、かさ上げについても相当の安全を考えたものになっているが、やはりつらい思いをされた方からすれば、さらに安全、さらに安心を求められることは理解できる。

問) 今の庁舎の位置が住民アンケートの中では一番多かったんですが、それでもそこに絞らなかった理由を再度お聞かせいただきたい。

市長) 先ほども申し上げたが、本当にここでよいのかと考えた時に、この場所の横にコミュニティセンターが建設されます。そこにはヘリポートが計画されているが、そうすると市役所の建設などにもかなり制限が出てきます。また、駐車場の問題なんかもある。またご意見の中には、高台は望、

が、今の市役所の場所が最適ではないとの意見も多くいただいている。同じような意見は議会からの申し入れの中にもあります。そういったことをトータル的に判断すれば、もちろんここも選択肢のひとつではありますが、今すぐここということではなく、まだ良い条件の場所を探る必要があると思う。

問) 現実的に高台に市役所の土地を確保することが出来るのか。

市長) 確かに厳しいとは思っている。改めて山を削るなどとなると、莫大な時間とお金がかかる。まずは住民が動ける土地の確保が最優先であるので、その後に条件に合う土地がないかを検討しなければならない。

問) 今後のスケジュールですが、平成30年度までの復興計画をめどと思ってよいのか。

市長) 財源だけでいえば平成30年度まででよいのかという意見にもなってくるが、出来れば平成30年度末には新しい市役所での機能が動き出すのが理想ではある。ただ、復興計画が30年度までであるので、そこまでにはある程度の目途をつけなければならない。

問) 住民アンケートの回収率が44%ほどということで、この数字をどう見てらっしゃるか。

市長) ご意見などを伺えば高い数字だとも聞くが、私から見ればもう少し回収率が上がるものと思っていた。ただ、私もいろんな方に話をしてみれば、市役所の位置は市役所に任せてますから、アンケートは出しませんといった意見もいただいた。それがすべてではないと思うが、そのようなお考えの方も、出されなかった方の中にはあると思っている。